

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

① 第三者評価機関名

社会福祉法人岐阜県社会福祉協議会

② 施設・事業所情報

名称：恵那市立城ヶ丘こども園	種別：幼保連携型認定こども園	
代表者氏名：園長 西尾 浩余	定員（利用人数）：140名（140名）	
所在地：岐阜県恵那市大井町848-1		
TEL：0573-25-2539	HP： http://www.ena-gif.ed.jp/jyougakoka-k	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：昭和42年（事業開始）		
経営法人・設置主体（法人名等）：恵那市		
職員数	常勤職員 14名	非常勤職員 22名
専門職員	保育教諭 27名	調理師 3名
施設・設備 の概要	乳児室 1室	調乳室、遊戯室、調理室、教材室
	保育室 11室	事務室、沐浴室

③ 理念・基本方針

理 念

《自然・地域》

「恵那の豊かな自然を活かし、地域に根ざした教育・保育を目指す」

《生きる力の基礎》

「さまざまな体験を通して、その子らしく生きる基礎を培う」

《個の尊重・豊かな心・人とのつながり》

「人とのつながりを大切にし、思いやりのある心豊かな子どもを育てる」

《家庭の支援》

「家庭教育力を高め、子育てに喜びを感じられる支援の充実を図る」

基本方針

《自然・地域》

身近な自然について興味や関心を育て、地域に開かれた園として保育・教育すること

《生きる力の基礎》

健康・安全で情緒の安定した生活ができる環境や様々な体験を通して、自己を十分に発揮できる環境を整えること

《個の尊重・豊かな心・人とのつながり》

子どもの生活や遊びを通して、自発的・意欲的に関わられるような環境を構成し、子どもの主体的な活動や子ども相互の関わりを大切にすること

《食育》

子どもの食の実状に配慮し、生活と遊びの中で意欲をもって食に関わる体験を積み重ね、様々な食べ物への興味や関心を持てる環境を整えること

④ 施設・事業所の特徴的な取組（※評価機関において記入）

本園は昭和25年6月に旧恵那郡大井町立の保育園として設立されて以降、75年の歴史のある施設である。現施設は、平成22年4月に学校法人荻須学園が公の施設に係る指定管理者として、恵那市からの指定を受け運営が行われている。平成27年4月に幼保連携型認定こども園に移行し、現在は「恵那市立城ヶ丘こども園」として運営がされている。

園では、「身の周りの人・もの・自然と関わる体験をし、元気でなかよく自分から行動する子」～「生き抜く力」の基礎を養う～を目標として掲げ、様々な特色ある園活動を計画的に展開している。また、園外保育やお茶会、太鼓、野菜作りを通して、地域との交流を積極的に行い、近隣小・中・高等学校と連携を図り、人・もの・自然との関わりを広げている。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和7年5月28日（契約日）～ 令和8年3月23日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	12回（令和5年）

⑥ 総評

◇特に評価の高い点

・令和7年度に向けた方針を策定し、その中で管理業務を行うに当たっての基本的な考え方とその方法として取りまとめ、具体的な現状分析と対応策が提示されている。

・評価結果で示された課題については、職員会等で共有し、具体的な改善方法を検討したうえで、見直しを行っている。また、恵那市幼児教育の4本柱取り組みの目標管理シート作成の段階で、前年度の園の教育・保育の振り返り、新たな目標の作成、目標達成のための対応策の検討を行い、改善に向け計画的に取り組んでいる。

・保育の五領域（健康・人間関係・言葉・環境・表現）に合わせたチームを非常勤職員も含めて作り、職員が一丸となって行事や保育環境の改善に取り組めるよう、職員の事務分掌・組織体制の見直しを行っている。

・園長、副園長、担当者、調理員と連携を図り、子ども、保護者の状態を職員間で共有し、園全体で子どもの育ちを保障する基本がしっかりなされている。

・毎日、玄関に立ち登園、降園時に親子に声がけされるのは、子ども、親が安心して預けられる体制が作られ、入園希望の多いこども園となっている。

・地域の方々や中高校生にこども園に来園していただき様々な交流がある。交流を通して体験・体感を多く与え、子どもの視野を大きく広げる取り組みがされている。

・地区の防災士から年2回の講話があり、土砂災害などの知識を身につけられる取り組みが行われ子どもの安全・安心な園づくりに努められている。

・特色ある活動（つながる活動）を計画する上で、職員会以外にも以上児会・未満児会などの会議を設け、情報共有が行われている。保育日誌の記入等にタブレットを使用することで、園児と向き合う時間が確保され、園児自身が「気づく・試す・工夫する」など反応を見ながら活動を行っている職員の姿がみられた。小学校との連携において、接続カリキュラムを作成し、年長組担任と小学校一年生担任との交流会を増やし、年度末には指導要録に基づいた引継ぎ等

を実施している。

◇改善を求められる点

- ・保護者アンケートの対象に3歳未満児の保護者が含まれておらず、3歳未満児の保護者の声も反映されるアンケートの実施に期待したい。
- ・多様化している入園の親子にわかりやすくイラストなどで説明ができるものがあると良い。
- ・ボランティアの受け入れは行われているが全職員にマニュアルなどが周知されていないので職員会などで周知されたい。
- ・保護者のお迎えが18時以降になる園児に対して、おやつ等を提供できるようにする必要があると思われる。また、出入り口の施錠等を行っても、不審者の侵入経路が複数あるため、出入口・勤務体制など様々なパターンを想定した訓練計画を実施することや、保護者向けアンケート結果にあるわずかな意見に対して、職員で共有することが必要であると考えられる。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

恵那市の教育の方針に基づき、園の重点として取り組んでいる保護者・地域とつながり、人・もの・自然との関わる活動について、価値を明確にお示しいただきありがとうございました。また、各評価の結果を踏まえ、保育活動や保育環境を見直し、改善に向け取組を進めていることについても評価をいただきました。高く評価いただいたことについては、今後も継続して進めてまいりたいと思います。

改善点として挙げていただいた「マニュアルの周知」「不審者対応の訓練や取組」につきましては、来年度以降の取組に生かしたいと思います。「3歳児未満児の保護者アンケート」「おやつ提供」「入園の手引き等」につきましては、恵那市で統一されている形のものではありますが、改善に向けて園から要望するとともに、園でできることについても検討し、安心、安全な保育が提供できるようにしてまいりたいと思います。

今後ともご指導をよろしくお願いいたします。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。